

製品名: リン酸化 p38 (Tyr323) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00941**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK14 MAPK14; CSBP; CSBP1; CSBP2; CSPB1; MXI2; SAPK2A; Mitogen-activated protein kinase 14;
別名	MAP kinase 14; MAPK 14; Cytokine suppressive anti-inflammatory drug-binding protein; CSAID-binding protein; CSBP; MAP kinase MXI2; MAX-interacting protein
遺伝子 ID	1432
SwissProt ID	Q16539
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

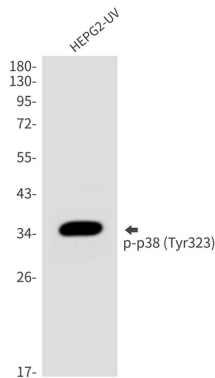
背景

環境ストレス、炎症性サイトカイン、リポ多糖（LPS）による活性化に対し、ELK1 や ATF2 などの転写因子、および MAPKAPK2 や MAPKAPK5 などの下流キナーゼをリン酸化することで応答する。IL-6 などのサイトカインの産生において重要な役割を果たしている。

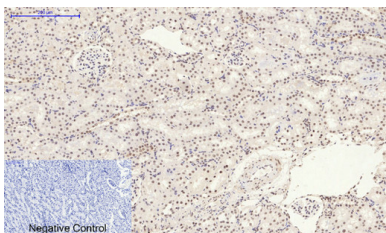
研究分野

シグナル伝達

画像データ



Phospho-p38 (Tyr323) 抗体を使用した HepG2 溶解物中の Phospho-p38 (Tyr323) のウェスタンプロット分析。



リン酸化 p38 (Tyr323) 抗体を使用したパラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。